

セゾン投信のフィデューシャリー宣言 取り組み状況報告(臨時報告)

2019年5月20日
セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓
フィデューシャリー委員会

金融庁が開示を求める「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について、当社の実績(2019年3月末基準)をご報告申し上げます。

金融庁は2018年3月末付で「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の公表を金融業界に促し、多くの金融事業者が当該データを自ら算出して開示しました。これを契機として、金融機関毎の投資信託販売における「顧客本位の業務運営」に対する実践度合いを世間が客観的に比較出来る機会、すなわち生活者への「見える化」に向けた環境が構築され始めたのです。

そして今般、前回公表から1年後である2019年3月末付で同データをアップデートして公表しましたが、1年前との比較で大半の金融機関がその数値を改善していることでしょうか。ここから気づくのは、当該数値水準はその時々々の外部環境や相場状況による影響が多分にあるということであり、公表数値の絶対水準よりも各金融機関の数値の違いと改善度合いがいかなる要因によってもたらされているのかを客観的に分析し認識することから、金融機関の営業姿勢における真の「見える化」が始まる、ということです。

セゾン投信では「お客さま全部主義」の理念に立脚し、お客さまの利益の追求に向けた最善の努力を行動規範に据え、最適と考える投資行動への徹底した勧奨を貫いてきたことで、他社を凌駕するデータの水準を実現出来ていると考えております。今後とも、顧客本位の業務運営におけるKPIの公表を好機と捉え、その開示に向けて役職員一同、叡智を結集させて努力してまいります。

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

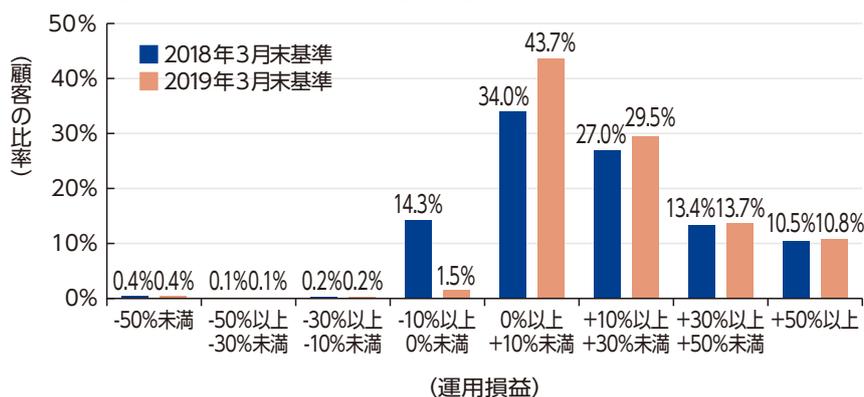


▶ 金融庁が開示を求める「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」に係る 当社実績

※共通KPIの定義・算出方法はこちらをご参照下さい
<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf>

投資信託の運用損益別顧客比率

(■2018年3月末、■2019年3月末の実績を併記して表示)

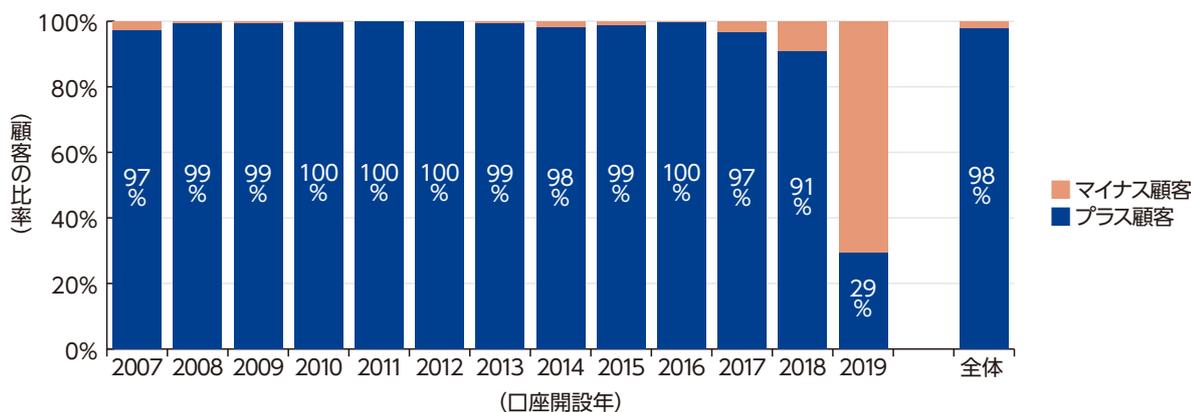


運用損益率が0%以上の顧客の割合

2018年3月末基準	84.9%
2019年3月末基準	97.8%

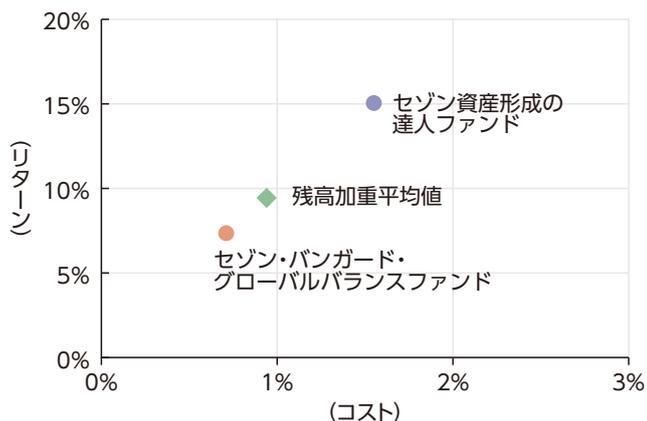
※累計買付金額、累計売付金額は2007年3月15日の設定日から2019年3月末までの通常の取引データを基に集計(移管等を含まず)、相続等により購入データの存在しない顧客は集計対象外。
小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

(参考)口座開設年別損益状況分布 (2019年3月末、法人顧客を含む、数字はプラス顧客の比率)

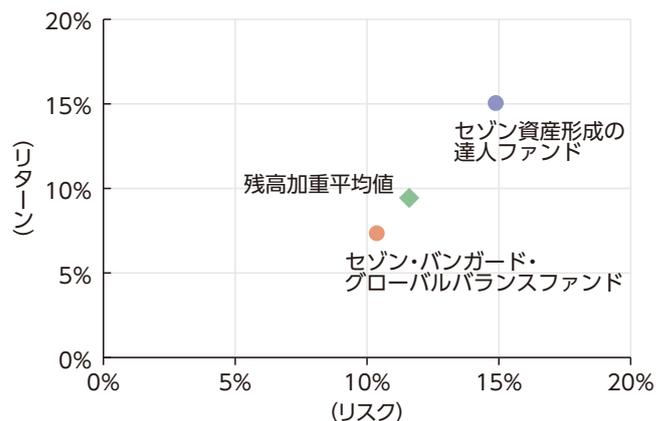


■ 投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン(※当社販売商品は2銘柄のみ)

①【2018年3月末】(過去5年間／2013年4月～2018年3月末)

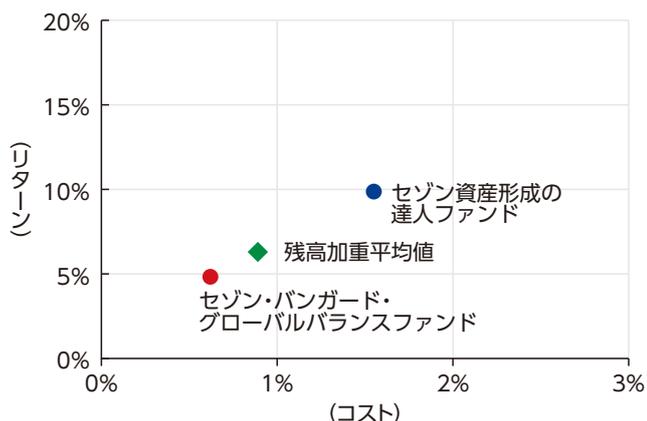


残高加重平均値	コスト	リターン
	0.94%	9.44%

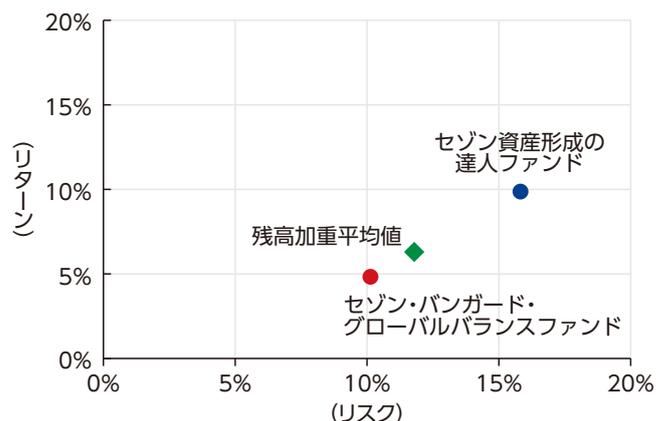


残高加重平均値	リスク	リターン
	11.60%	9.44%

②【2019年3月末】(過去5年間／2014年4月～2019年3月末)



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.89%	6.30%

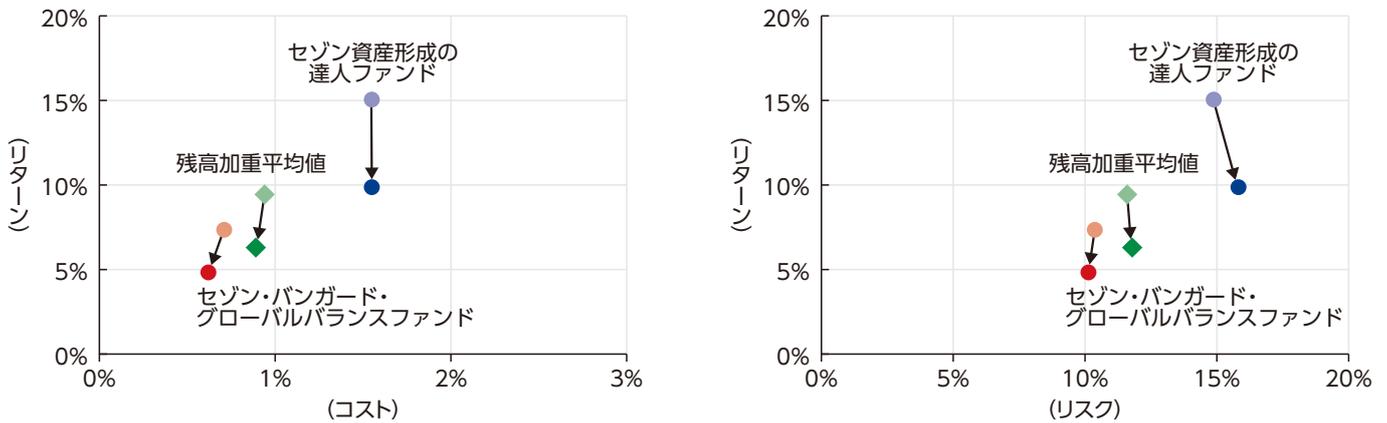


残高加重平均値	リスク	リターン
	11.79%	6.30%

(※当社販売商品は2銘柄のみ)

銘柄名		期間及びマーク	当該5年間の年率リターン	当該5年間の年率リスク	コスト
1	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	① ●	7.35%	10.37%	0.71%
		② ●	4.83%	10.13%	0.62%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	① ●	15.05%	14.88%	1.55%
		② ●	9.87%	15.82%	1.55%
残高加重平均値		① ◆	9.44%	11.60%	0.94%
		② ◆	6.30%	11.79%	0.89%

■(参考)コスト・リターン/リスク・リターンの2018年3月末と2019年3月末の実績推移



【リターン、リスク、コストに関する注記】

- リターン：ある期間投資信託を保有し続けた場合の総合収益率(年率換算)。
- リスク：月次リターンの標準偏差(年率換算)。リスクの高い投資信託とは、基準価額の変動率が大きい投資信託を指します。
- コスト：ここでは、目論見書に書かれている実質的な信託報酬率の最大値としています。
当社で販売する投資信託は、販売手数料はかかりません。

【商品特性に関する注記】

- セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド：世界中の株式と債券へ半分ずつ投資することにより、リスクを抑えながら安定したリターンの獲得を目指しています。
- セゾン資産形成の達人ファンド：世界中の株式に幅広く分散すると共に、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく、投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら長期的なリターンの獲得を目指しています。

商品詳細についてはこちらをご参照下さい：<https://www.saison-am.co.jp/fund/>

【ご留意事項】

- 当資料は特定ファンド取得の勧誘を目的としたものではありません。当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 積立による購入は将来の収益を保証したり、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。また、値動きによっては、積立よりも一括による購入の方が結果的に有利になる場合もあります。
- 投資信託に係わるリスクについて
当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、投資元本を割り込むことがあります。
当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。
- 当ファンドに係わる費用について
 - ◆購入時に係る費用
購入時手数料はかかりません。
 - ◆解約時に係る費用
解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。
 - ◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用
信託報酬 ※ファンドの規模に応じて変動する場合があります。
 <セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド>
 ファンドの純資産総額に年0.4968%(税抜0.46%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.60±0.02%(税込/概算)となります。
 <セゾン資産形成の達人ファンド>
 ファンドの純資産総額に年0.5724%(税抜0.53%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%(税込/概算)となります。
- その他費用
信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 当資料は、お客様へ会社ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ず販売会社が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身で判断下さい。

【商号：セゾン投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第349号 加入協会：一般社団法人投資信託協会】